

教育現場にてサイバー攻撃の脅威が急増！ デジタル時代に生徒を守るには

教育とテクノロジーの結びつきが深まる中、サイバーセキュリティについて深く考えなければなりません。近年では、日本でもEdTech(エドテック)の推進により、タブレットが導入される学校も増えました。そのため、学校でどのように機密的な個人情報を扱い、どのように保護されているのかを理解し、改善が必要な領域では改善することが重要となります。Keeper Securityではこの緊急の課題を明らかにするために、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、インドネシア、日本、フランス、イギリス、アメリカ、DACH地域の6000人を対象に調査を実施しました。



ポジティブな側面



保護者の信頼の高さ
74%

の保護者が学校での機密的な個人情報の保護に信頼を示す



リスク意識の高まり
51%

の回答者が学校のサイバーセキュリティについてやや心配しているか非常に心配している

懸念される側面



好ましくないパスワードの取り扱い
21%

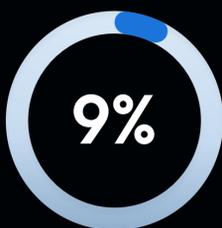
安全なパスワードの取り扱いに関して指導している学校は



サイバーセキュリティ教育の不足
14%

サイバーセキュリティのトレーニングが必須である学校は

これらのデータによると、学校におけるサイバーセキュリティの厳しい実情が浮き彫りにされており、直ちに対処を要する脆弱性が存在することが明らかとなっています。生徒の多くがパスワードを使い回しており、サイバー脅威のリスクを高めています。好ましいパスワード管理に不可欠なパスワードマネージャーを提供している学校はわずかです。さらに、教育機関を狙ったサイバー攻撃が急増しており、生徒の個人情報を効果的に保護するために学校で包括的なサイバーセキュリティ対策を導入することが緊急の課題となっています。



の学校でしかパスワードマネージャーが提供されておらず、大多数の生徒はパスワードの管理が不十分な状態となっています。



の生徒がサイバーセキュリティのリソースを使用できる状態であると報告しており、サイバーセキュリティ教育の不足を浮き彫りにしています。



の回答者が個人アカウントと学校アカウントの両方でパスワードを使い回していることを認めており、サイバー攻撃の脅威に対する脆弱性が高まっています。



「サイバーセキュリティは共同責任です。学校、保護者、生徒が協力して安全なデジタル環境を構築できるように助ける必要があります。」

ダレン・グッチョーネ
Keeper Security社CEO兼共同創業者



教育現場にて今すぐ始められるサイバーセキュリティ対策の提案

サイバー脅威が進化する時代において、学校では機密情報を保護するために基本的なサイバーセキュリティの最適な対策方法を優先する必要があります。Keeper Securityでは、個人、家族、教育機関でのサイバーセキュリティの適応力を向上させ、より安全なデジタル環境を育てるための新しい解決策を提供することに尽力しています。



会話を始める
サイバーセキュリティ対策とポリシーの概要について保護者に説明します。これにより信頼が形成され、子供の安全について家族に安心感を与えます。



パスワード管理を強化
効果的なパスワード管理法を導入してトレーニングを提供します。パスワード取り扱いに慎重になることは、セキュリティの向上につながるためです。

教育の強化

生徒とその家族にサイバーセキュリティの教育を拡大します。進化するサイバー攻撃の脅威に対して、知識を増やしておくことは重要で効果的です。

